

【概要】

平成28年度 東京都自立支援協議会第2回本会議 全体会②記録

<p>高沢 副会長</p>	<p>【第1グループからの報告について】</p> <p>○人材育成の取組について</p> <ul style="list-style-type: none">・当事者委員より、知識や経験があってもよい支援者とは言えない、共感できる人、信頼できる人ということが大切。・相談員としての理念が一番大切。・理念を都協議会が提示する、あるいは研修を組む。具体的にどのようにプランを立てればよいかは区市町村で実践していくような二層構造を持つことがよいとの意見でまとまる。・サービスの向上は相談員のスキルアップだけではなく、地域のレベルアップ、地域の資源の開発が必要、相談員1人で100人の計画を作っているようではできない。・計画作成の単価を上げてもらわなくてはならない。・利用者は増えたが、それにあつたサービスが増えない。行く場所はあるが、それに適したサービスがないという現状を現場では感じている。 <p>○地域協議会との関係性について</p> <ul style="list-style-type: none">・都協議会の運営として、交流会、セミナーの回数が少ない。・部会があつたらよい、部会が出来ないのであれば、各地域の部会をネットワーク化して機能を持たせる。・都レベルで推進協等があるので、都協議会から委員を派遣し、兼務するというやり方で情報の共有化を図ることができるのではないか。・交流会は各地域から都レベルに意見を集約していく機能があつてもよいのではないか。これまで人材育成をテーマとして話をしてきたが、例えば、当事者の参加についてテーマにする。・当事者の意見で、協議会に当事者が参加しやすい環境を整えていくことも必要とのこと。また、協議会は偉い人が集まってくる、普通の人が集まって話をするのも理想ではないかとの話もあつた。
<p>海老原 副会長</p>	<p>【第2グループからの報告について】</p> <p>○人材育成の取組について</p> <ul style="list-style-type: none">・交流会やセミナーを通して、他の地域の取組、情報を知ることが出来た。・視点、行動の表を作り、課題の整理が出来た。それを地域の協議会、現場に落としていくときに、現場は忙しく、質の向上までは手が付けられない。地域に還元していくにはまだ課題があり工夫が必要。・計画を作る人材の質とは別に、作ってもらう側、当事者、親の中には計画相談の意味を十分に理解していない方もいる。 <p>○地域協議会との関係性について</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナーや交流会の回数が少ない。 ・参加人員、時間が限られている、しかし増やすことは難しい。工夫として都をブロックに分け活動してもらうこともよいのでは。実際多摩で実践し、情報交換等を5年間続けている。 ・都の取組を地域におろしていくのではなく、地域でやっていることを都に挙げていく取組が必要ではないか。 ・都の方から地域に対してアンケートを取ってほしい。 ・地域の協議会の委員が都の協議会に入り、都でやっていることを地域に戻してもらう必要があるのではないか。 ・都協議会がまとめた意見、成果を都の推進協に資料として出されているが、議論される機会がない。都協議会と都本庁の組織との連携がもっとあればよいとの意見があった。 <p>○都の協議会として取り組んでほしいこと、その他感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援の仕組みについて、国が見直しの節目に来ているので、都協議会として、議論をまとめることが出来ればよい。 ・都協議会がこれからどのようなことに取り組んでいくかについてまとめていくときに、地域の協議会がどんなことで困っているのか、地域でどのようなことをしてほしいのか、意見を集約する仕組みを作してほしい。 ・当事者の方より、地域での会議が盛り上がるような取組、地域協議会でもっと意見が活発に言えるような場があったほうがよい、都協議会でも意見を言いやすくなる、そのような仕組みについて話し合してほしい。 ・今まで、人材育成について話し合ってきたが、都協議会をどう盛り上げるかということではなく、地域の部会がどのようなことで盛り上がっているのか、このような部会があればもっと盛り上がるというようなことを共有するのもよいのではないかと意見があった。 ・協議会に参加して、普段自分が活動していることを客観的に整理するきっかけになった。当事者の方から、当事者の人がもっと入り、当事者の意見をもっと出せる雰囲気大切との話あり。
<p>沖倉会長</p>	<p>多くの方のお話をお聞かせいただきたくグループ討議という形で進めてきた。今の話の中にもあった、ここで話されたことが伝わり、それに対するリアクションとして返ってくる仕組みが十分ではなかったと思う。</p> <p>今年のセミナーで話したことは、研究者として考えていたことだが、皆さんのお話を聞いて、ほぼ間違っていなかったと思う。</p> <p>これまで、皆さんに議論していただいたことを踏まえて報告文を書こうと思っている。これまでの5年間の最後に、まとめの文書のたたき台を3月20日過ぎに事務局経由で発信するので、ぜひご意見をいただければと思う。</p>

※第1・第2グループのそれぞれの討議については、別記各グループ討議記録（概要）に掲載